

株主の皆様へ To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第19期第2四半期における不動産業界では、都心のオフィスビルを中心に賃料水準が低下するなか、ビル附置駐車場の不稼働部分の収益化需要が高まりました。当社では、駐車場の稼働率と収益性の向上を図るとともに、駐車場活用の新たなソリューションとしてカーシェアリングを提案し、その基盤強化と事業拡大に努めて参りました。

スキー場事業では、昨年11月、長野県北志賀高原に位置する竜王スキーパークを運営する竜王観光株式会社の全株式を取得し、新たなスキー場運営に着手いたしました。サンアルピナ鹿島槍スキー場に続く2ヶ所目のスキー場運営となり、両スキー場間の相乗効果を追求し積極的且つ効率的な営業活動に取り組み、スキー場事業の黒字化を達成いたしました。

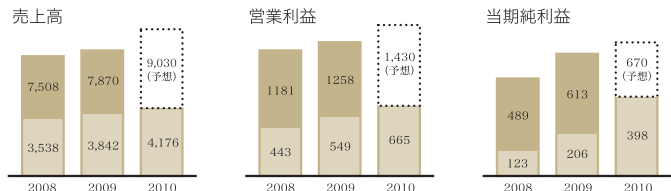
これらの結果、連結売上高、営業利益ともに過去最高を達成いたしました。今後におきましても、変化する市場動向や顧客ニーズを的確にとらえ、駐車場の有効活用のソリューションを提案するとともに、更なるサービスの革新に取り組み、付加価値の増大を図り、株主の皆様のご期待に応えて参る所存であります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 巽 一久



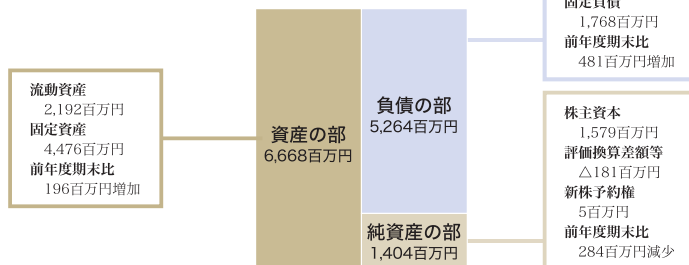
連結決算ハイライト (単位: 百万円)



財務情報

Financial Information

第2四半期連結貸借対照表(要旨)



第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

	2009年1月期	2010年1月期	増減率 (%)
売上高	3,842	4,176	8.7
売上原価	2,369	2,497	
売上総利益	1,473	1,678	13.9
販売費及び一般管理費	923	1,013	
営業利益	549	665	21.1
営業外収益	116	58	
営業外費用	164	137	
経常利益	501	587	17.1
特別利益	0	144	
特別損失	118	149	
税金等調整前四半期純利益	383	582	51.9
法人税等	177	184	
四半期純利益	206	398	92.8

Point

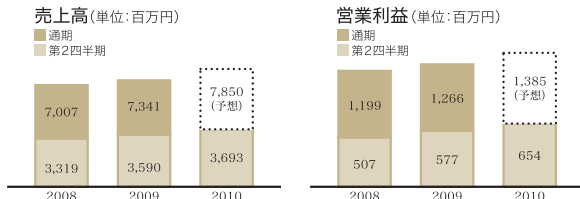
売上高は4,176百万円、営業利益についても665百万円と過去最高となりました。経常利益については、前年同期において計上した投資有価証券売却損失が当期は発生しなかったことから、587百万円となりました。また、純利益については特別損失が149百万円発生したものの、スキー場事業において竜王観光株式会社の取得に伴い発生した負ののれんを一括償却し、特別利益を144百万円計上したこと等により、398百万円となりました。

駐車場事業

Parking Facilities Business



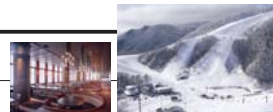
ビル収益が通減しオーナーの駐車場収益化ニーズが高まるなか、直営事業の新規提案を進めると同時に、駐車場運営コストの適正化などマーケット変化にあわせたソリューション提案を積極的に実施いたしました。その結果、売上高は3,693百万円と過去最高を達成するとともに、物件数においては前年同期比35物件純増の656物件となりました。また月極駐車場の契約率向上に努め収益性を改善するとともに、コストの見直しを行った結果、全社費用を含む営業利益についても654百万円(前年同期比13.4%増)と過去最高を達成いたしました。



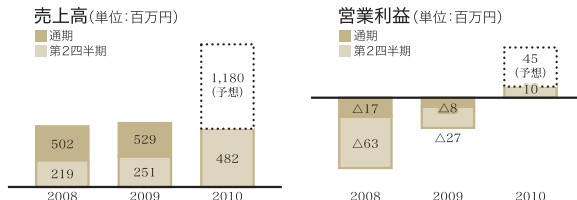
※IPO・IRコンサルティング事業については、駐車場事業に含めて記載しています。

スキー場事業

Ski Resort Business



運営4年目となるサンアルピナ鹿島槍スキー場では、イベントと連動した積極的なPRを行い、引き続き来場者数を増加することができました。また11月から運営を開始した竜王スキーパークとの都市部における共同セールスなど、効率的且つ相乗効果を図る営業活動を展開し、売上高は482百万円(前年同期比91.8%増)と大幅な増加を達成いたしました。また営業利益についても、電力利用の最適化などコスト管理を徹底し、10百万円(前年同期は27百万円の営業損失)と、前年より大幅に改善し、第2四半期での営業黒字を達成いたしました。



Topics 1 ヤマハ銀座ビルの駐車場運営開始

2010年2月末、東京銀座にリニューアルオープンしたヤマハ銀座ビルの駐車場運営を開始いたしました。リニューアルにより大型のコンサートホールが新設され、コンサートイベントの際の利便性や、顧客サービスの充実のため、総台数32台の機械式駐車場が新設され、その運営を当社が実施することとなりました。ご利用顧客の安全を確保することはもとより、施設全体の付加価値の向上につながるよう、快適でホスピタリティ高い駐車場運営に注力いたします。



Topics 2 竜王スキーパーク

2009年11月に、長野県北志賀に位置する「竜王スキーパーク」の運営を新たに開始いたしました。竜王スキーパークは、雪不足や不景気の影響で他のスキー場が苦戦するなか、昨シーズン29万人以上の来場者を記録し、サンアルピナ鹿島槍スキー場と同様に来場者数を伸ばした数少ないスキー場のひとつです。世界最大級の166人乗りロープウェーを有しており、スキーシーズンだけでなく登山やハイキングなど年間を通して営業しています。



料金後納
郵便



NPD Business Report 2010

第19期 第2四半期株主通信

2009年8月1日～2010年1月31日

証券コード 2353

日本駐車場開発株式会社

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (通話料無料)

問い合わせ先

こちら
はがして
下さい

会社概要 (2010年1月31日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	日本駐車場開発株式会社		
本社所在地	大阪市中央区北浜三丁目7番12号 東京建物大阪ビル		
資本金	568百万円		
設立年月日	1991年12月		
従業員数	196名(連結) 158名(単体)		
業務内容	駐車場に関する総合コンサルティング		

役員

代表取締役社長	巽 一久	取締役	中尾 友治
取締役副社長	川村 憲司	社外取締役	古川 裕倫
取締役副社長	氏家 太郎	社外取締役	福住 俊男
常務取締役	松尾 秀昭	社外取締役	諸江 幸祐
常務取締役	岩本 竜二郎	常勤監査役	海老名 利雄
取締役	鈴木 周平	監査役	大江 孝明
取締役	杉岡 伸一	監査役	中嶋 勝規

株主メモ

Shareholders' Memo

事業年度 毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会 毎年10月
期末配当金受領株主確定日 7月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711 (通話料無料)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部 ジャスダック証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.n-p-d.co.jp/ir/announcement.html>
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

こちら
はがして
下さい